

# [Windows10版] スマートアクセス 接続ガイド ブラウザのセキュリティ設定の変更

スマートアクセスをインターネットサイトに登録して、VPN接続に必要となるActiveXをインストールできるようにします。

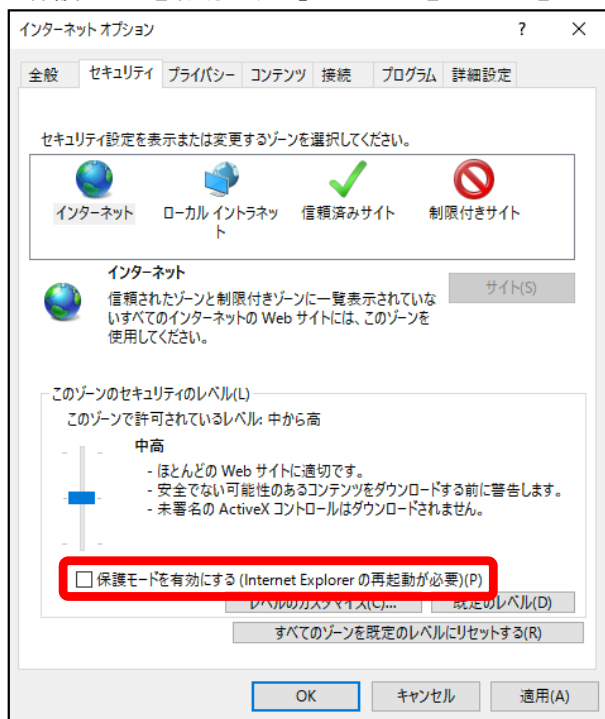
※インターネットのセキュリティ設定によっては本作業は必要ない場合がありますが、事前に設定いただくとインストールがスムーズです。

- 1 インターネットエクスプローラーを開き、画面右側の歯車マーク(設定)をクリックし、続いてインターネットオプションをクリックします。



- 2 インターネットオプションの設定画面が開きますので、「セキュリティ」タブにて「保護モードを有効にする」にチェックを外しOKをクリックして下さい。

【←参考】インターネットを選択し、他のゾーンは選択しないで下さい。全て設定完了後、「保護モードを有効にする」のチェックを入れることをおすすめします。



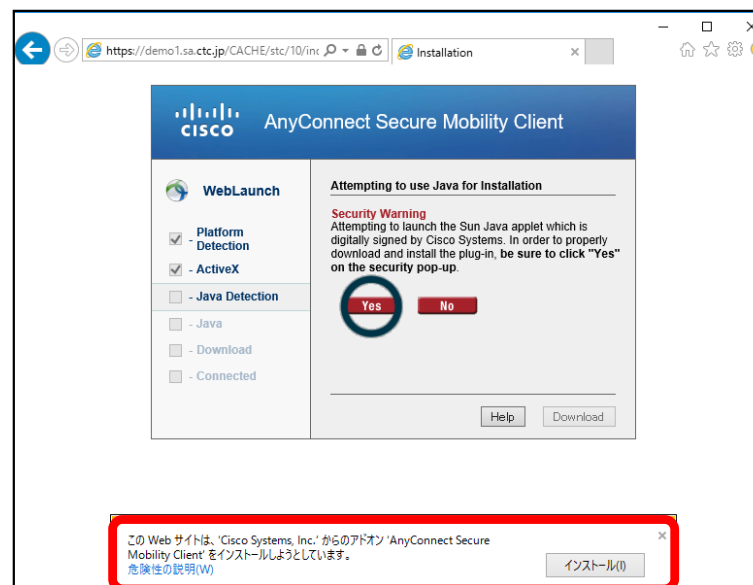
# [Windows10版] スマートアクセス 接続ガイド スマートアクセスによるVPN接続・切断

Windows10からは標準ブラウザがInternet Explorerから新ブラウザ“EDGE”に変更となりましたが、スマートアクセスサービスはInternet Explorer11を利用し、接続します。(IE11はWin10にインストールされています)

- 1 インターネットブラウザEDGEから、設定“Internet Explorerで開く”を選択します。  
→Internet Explorer11が開きます。



- 4 ポップアップにより、接続ソフト (AnyConnect) のインストール許可が促されるため、インストールを選択してください。



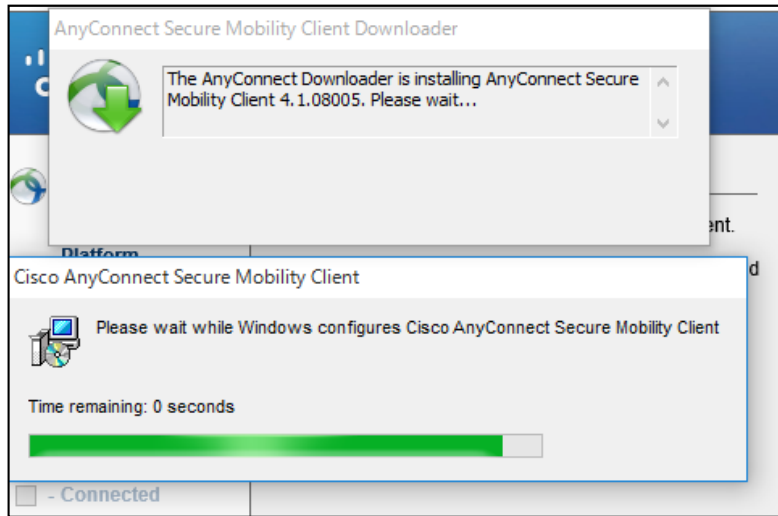
接続ソフトのインストールにコンピュータの管理者権限が必要になりますので、管理者権限でログインした状態で行ってください。

- 2 インターネットブラウザから「<https://nku-vpn.sa.ctc.jp/>」に接続します。

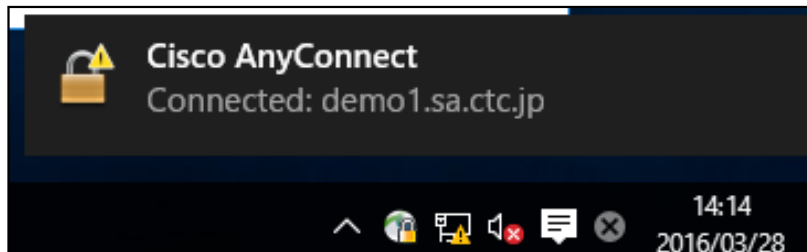
- (注) 接続ソフトのインストールにコンピュータの管理者権限が必要になりますので、管理者権限でログインした状態にて接続をしてください。  
(注) 接続ソフトはスマートアクセスご利用時に限り、何台インストールしてもかまいません。

- 3 サインイン画面が表示されるため、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。ユーザー名はGmailの@マークより前の部分、パスワードはGmailの初期パスワードと同様です。

- 5 初回ログイン時には、接続ソフト(AnyConnect)のダウンロードおよびインストールが自動的に行われます。

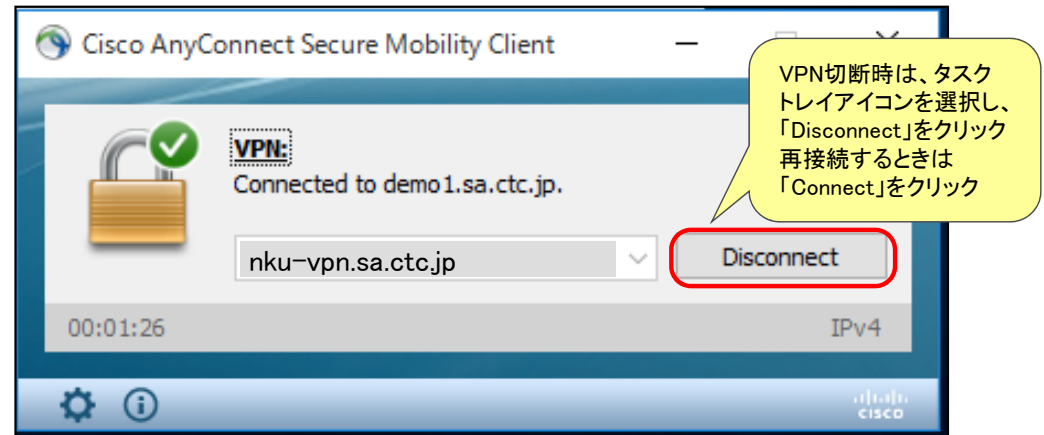


- 6 AnyConnectをインストールした後は、自動的にゲートウェイへの接続が行われます。  
※AnyConnectで接続が開始されればブラウザは閉じて問題ありません。



接続中はタスクトレイに  アイコンが表示されます。

- 切断方法

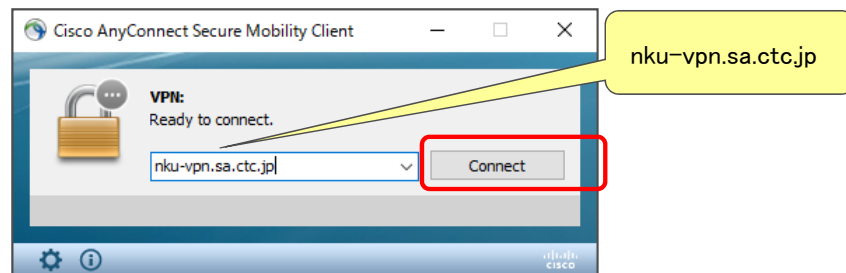


# [Windows10版] スマートアクセス 接続アプリ(AnyConnect)での接続・切断(2回目以降の接続)

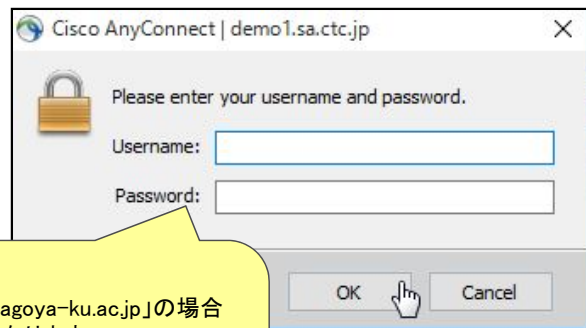
- ① タスクトレイアイコン Cisco AnyConnect から接続ソフトを起動します。指定されたゲートウェイ名を入力して「Connect」を選択して接続します。次回以降の接続時には、ゲートウェイ名の入力不要です。



- ※ 次回のVPN接続はブラウザの起動は必要ありません。
- ※ ゲートウェイ名は、「nku-vpn.sa.ctc.jp」となります。
- ※ 接続ソフトの起動およびVPN接続は制限ユーザーで実施可能です。(管理者権限不要)

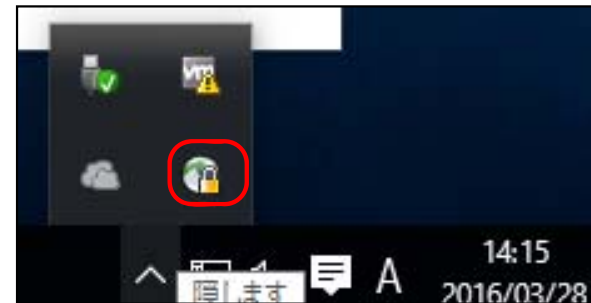


- ② サインイン画面が表示されるので、ユーザ名とパスワードを入力して「OK」を選択します。ユーザ名はGmailの@マークより前の部分、パスワードはGmailの初期パスワードと同様です。



ユーザ名:  
「abcdefg@nagoya-ku.ac.jp」の場合  
『abcdefg』となります。  
学生:sまたはgで始まる7文字  
教員:tで始まる8文字  
パスワード:  
Gmailの**初期仮パスワード**

- ③ 接続中はタスクトレイに  アイコンが表示されます。



タスクトレイでVPN接続状態を確認

## ● 切断方法

VPN切断時は、タスクトレイアイコンを選択し、「Disconnect」を選択します。

